婦人と新社會

山田わか主筆

二月號

新らしい政治の精神

經濟問題と家庭問題

政治と本能

一月の思ひ

母心と法律

妻子を捨てる男を保安處分に

——編輯の後——

昭和五年一月二十三日印刷納本

昭和五年二月一日發行　第百拾九號　毎月一回一日發行

東京　婦人と新社會社　發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新らしい政治の精神

生活の本義を理解しない子供には生活の方式が必要です、けれども、一人前になつた時には、もう、其の方式は必要でなく、彼の自由意志に任せて置いて差し支へありません。

國民が幼稚である時には憲法の成文が必要です。憲法の精神が體得出來ないので、文字に現したものが必要です。けれども、今や、私共は成長した筈です。憲法と云ふ方式によるのでなく、其の辭句に支配されるのでなく、直接に其の精神を把握し得る筈です。其の精神を把握し得て、始めて、私共は眞の自由人になり得るのです。

今迄の政治は私共國民が持つてゐるものを、それが智力であれ、金力であれ、體力であれ、出させようとするものでありました。そして、其れを充分に出させた政治が成功した政治でありました。けれども、持つて居ないもの迄もこしらへさせる政治は猶一層進んだ政治です。

即ち、新らしい政治は、如何にせば國民に現に彼等が持つて居る以上の愛國心を起させ現に彼等が拂つてゐる以上の義務を拂はせ得るかであります。つまり、平時に於てのみならず非常時に遭遇した時にも有形無形の富源を如何にして豐富ならしむるかと云ふことです。

そして、さうするには一ツの新しい國民の組織を要します。そして、其の組織の中心は國民の共同作用です。云ひ直せば相互化、或ひは社會化を中心として、其處に愛國的精神を蓄積することです。國民が此れを建設した時に理想國家は始めて實現します。

小さい砂つぶが集つて陸となり、小さい水玉が集まつて大海となると云ふのは半眞理です。其處に凝集力が無ければなりません。そして國民の場合の此凝集力は共同的作用です。

(この文は本誌二十三號扉にあるものですが政治的興味濃厚である今故再載しました。)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟問題と家庭問題

現時の經濟國難に遭遇して、生活の緊縮を計らなければならない、節約の方法を講じなければならないと云ふことは、誰でもが承知してゐることでありながら、なかなか、その實行が伴はない。

大正十二年九月一日のあの大震災の恐るべき厄難にあいながら、猶、且、國民は殊に、東京市民は始めの數ケ月位は、それが餘儀なくされてゐたのだとは云へ質素が保たれてゐたけれども、追々復興の端緒がつくに從つて、又々元の通りに華美の風が盛んになりました。

不景氣來、生活不安、そして、「不景氣の深刻化」などゝ云ふ言葉に國民は脅かされて居るのでありますが、併し、やがては、そう云ふ心配のあつたことも忘れてしまつて、忽ち、又、華美の風が盛んになるのではないかと思はれます。

なぜ、理窟はよく知つてゐながら實行が伴はないかと云ふと、それは國民の大部分が家庭生活の意義を知らない、從つて、國家に對する義務を感じてゐないからであります。

○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

男女關係の問題に付ても同じです。嚴密な一夫一婦が結婚當事者の幸福のために、且社會の利益のために最上だとは誰もが承知してゐながら、事實に於ては常に其の一夫一婦制は亂されてゐます。花柳界に遊廓に身を落すことの罪惡は、百人が百人皆充分に承知しぬいてゐることでありながら、併し事實に於てはあゝした社會を存在せしめてゐる。繁昌せしめてゐます。

そして、これは國民の大部分が家庭生活の意義を知らない。結婚生活の使命に付て考へても見ないからであります。

○

今まで全然無視されてゐた婦人の力――國力に對する――を現政府は認めて、國家の財政立直しに際し、盛んに婦人の協贊を求められたことは、けだし大進歩と云つていゝでせう。

「政府にへつらはれていゝ氣になつてゐてはならない」などゝ云つてゐる向きもありましたけれども、とにかく、今まで全然念頭に置かなかつた婦人の力を借りたいと、當局者が云ひ出したことはい、い、か、い、じようだんではなく、そして、これは女性自身のため、且、國家のため非常に有意義です。

併しながら、今まで全然無視されてゐた國民の半數なる婦人の力が認められた、有力に働き出し

たからと云つて、それで、問題の解決が緒についたと云ふことは出來ません。確に、これも問題解決の一助にはなりますが、併し、問題の核に觸れては居りません。

要は國民の大部分が家庭の意義並びに結婚生活の使命を充分に悟つた時に、始めてあらゆる問題はもつれた絲をほごすように解決出來ます。

○

泥によごれた小川の水も一たん大河に注ぎ込まれ其處に合流する時には大勢の力で淨化されます。あらゆる社會問題と云ふいくつかの小川は、家庭及び結婚問題と云ふ大河に注ぎ込まなければならない。嚴肅なる結婚、健全なる家庭建設と云ふ方向に國民の心を向けることが根本問題で、經濟問題及び其の他のあらゆる問題は末の問題である。

結婚の嚴肅なる意味、卽ち、人類が此の地上に生を受けて以來、今日まで、又、未來永劫、其の生命を運んで行く器が結婚であり、そして、その仕事を營む處が家庭であると云ふ意味を悟るならば、その神聖な仕事場なる家庭、及びその家庭を保護する國家のために必要とあればどんな緊縮でも出來る。又、花柳界及び遊廓などに足の向く筈はない。從つて存在は出來ない。そして。この家庭及び結婚の問題に關しては、先づ女性の絶大なる覺悟が必要であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治と本能

國民を制裁し整理する重要な機關としての法律が無用になつたり、又は、政府其のものが必要でなくなる時代が、何時か一度は、何千年何萬年後かに來るであらうと想像しても、其れは差し支へないかも知れませんが、併し、今日の世界はまだ〳〵此の理想的な狀態から隔つてゐること遙かであります。

惡徳と云ひ、罪惡と云ひ、又は、社會秩序の紊亂と云ひ、それ等のよつて起つて來る原因を考へて見ると、それ等は皆感情の奔逸の結果、行くべき道から脫線した結果に過ぎない、これによつて見ても、まだ〳〵今日の世界は、法律を無用とするやうな理想社會から隔つてゐること遠きものであることが明らかであります。

一體、政府は國民の感情と行爲に對する制裁機關であるには相違ないけれども、併し、實は其の制限を通して、國民の感情と行爲を自由にする手段なのです。

政府は進化の生產物であります。政府は進化の生產物であるからして、それは、恰かも太陽系や

人體の構造と同じものなのです。

政府と云つても實は社會の一部分であつて、政府が國を治めると云ふことは、實は社會が社會自身を治めることであるのです。私が此處で社會と云ふのは個々人の集團を意味します。

ですから、制裁又は制限と云ふことは、唯、社會的作用であつて、そして、その作用は個人々々の小さい都合は無視して、全般の利益のために其の行動をとつてゐるのです。又、政府は自然の生産物であると同時に、その作用は社會的發達であるから、政府の作用は結局國民個々の要求の決算の結果であると云ひえます。故に、政府を壓制政府にしたり、自由政府にしたりするのも、それは、皆、個々人の集團、卽ち、社會がさうするのです。

○

デモクラシーの思想は、先づ、殆んど、先天的な思想を基礎としたものであつて、實際の人間の性質を基礎としたものではありません。そして、それは事實がよく證明してゐます。デモクラシーには根本的に弱點があります。そして、その弱點は經驗に訴へるまでもなく明瞭である。卽ち、政治上の自由とは政治上の力を云ふのであつて、それは決して愚民の廢滅的な自由ではないのです。

デモクラシーに於ける政治上の力はいはゞ選擧人の數だけに其の力をこまかく切り割つたもので、そして、其の力は選擧人自身に任して置けば殆んど何等の用も爲さないものになつてしまう。故に、民主政治の本家本元である英國に於ても其の外何處の國でも、民主政治と投票の賣買とは殆んどつきものになつてゐます。

現代の民主政治に於ける本當の首領と云ふのは、投票權を持つてゐても其の利用法を知らない選擧民からいろいろの手段で其の投票を買ひとること、投票を買收する機關が即ち政黨なのです。これはデモクラシーの弱點であると同時に、政黨にとつては便利な點で、これが無かつたならば政黨の首領は殆んど無力であるに相違ありません。

過去の社會改造が効を現したのは今日の人々が大いに誇りとしてゐるデモクラシーから來たのではなく、むしろ、それは寡頭政治から出てゐます。所謂アゼンのデモクラシーが其れでありました。今日の所謂一部の民衆が希望してゐるやうに今日の諸制度を倒したならば其の結果はどうなるでせう。恐らく、大工は大工計りの利益になる法律を造らうとし、左官は左官計りの、農夫は農夫計りの、商人は商人計りの其の他あらゆる階級が自階級計りの利益を計るやうになるでせう。そして

富の分配の不公平不平均に對する不平の聲が手の付けられないやうになるのは餘りに明らかです。彼等が皆お互ひをつゝしみ紳士らしく相互の利益を尊重し合ふと云ふことは今日の人間の質から判斷して到底考へられないことです。

今日の人間のやうな國民が全部して政治をとり、そして、富の分配を勝手に請求する權利を持つたならば、それは、丁度船長に反逆した水夫共が船中の食物や飲料を勝手に摑み出しては亂用し、そして、一時の喜びに耽つて、船を港に着けることを妨げるやうになるのと同じであるに相違ありません。

世界の富の大部分は殆んど凡てが毎年生産しては消費してゐるのですから、永久な勞働と冒險を試みることによつて富の增加を計つて行かなければ人類は忽ち瀕死の狀態に陷ります。が、民主政治は勞働階級が自階級の都合のいゝ法律計りを造る結果有產階級を租税のかたちで倒し、そして、富の增加を計る冒險の餘地を無からしめる。そして、それは有產無產を等しく絕滅の悲境に陷れることです。

ですから民衆の自覺と云ふことは正當な順序によつて進むことで、決して、暴力によつて無理を

通すことではない。進步的政治はどこ迄も無理を排斥して順當に進むことです。

○

保守的な人は人間性は變るものでなく、從つて、凡ての事柄は現にあるがまゝの姿を持續しなければならないと云ふ風に主張して、そして、凡ての新しい企てには反對しようとします。彼等は科學も哲學も宗教も倫理も皆それに一致してゐると云ひ、そして、歷史は一つ事を、唯、繰り返してゐるに過ぎないと迄斷定致しました。

けれども、今日に於ては、科學も哲學も宗教も倫理も皆人間性の改良に努力しつゝあると云ふことを多くの人は認めてゐます。凡ての學問凡ての運動が皆人間性の改革を計つてゐるものだと云ふことを人々は了解して來ました。人間性の變化を不可能と見てゐる人の手で社會狀態が改良出來ないのは當然なことでありますが、もう一步進んだ人間性の變化の可能を認めてゐる人でも、併し、其の人間性を變へるに付いての適確な方法を見出し得ないために、社會狀態を改良するに付いて效果を擧げ得なかつたことは前者の場合と同じであります。もし、又、いくらかの效果があつたとしても、それは亘に外部的なものに過ぎないのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日に於ては、人は皆、この禍多き社會を構成してゐる人間の性質を改良したいと切望してゐます。けれども、其れに對する適當な方法を講じやうとはせず、唯、切望するだけで、或ひは强ゆるだけで、云ひかへれば、唯、社會制度の改革にのみ力を入れてゐます。つまり、人間を入れる制度と云ふ枠の恰好を變へることにのみ苦心してゐます。四角な器物を三角にした處が又は細長くした處が芋羊羹は矢張り芋羊羹でそれが小豆羊羹にはなりません。

普通選擧、及び、婦人參政權も、矢張り、唯、制度の改革、つまり、私共の生活を規定する枠を改良しようとするに過ぎないものであることを私は先づ此處に云つて置かうと思ひます。普通選擧、及び、婦人參政權は善いの惡いの正の不正のと云ふ時期はもう通りこしてしまひました。今日のこの代議政體が存續する限りは普通選擧にならなければならず、婦人も參政權を持たなければなりますまい。私共の生活を規定する枠、即ち、制度の恰好を定めるに付いては私共が皆參與しなければならないことは理の當然でありますから。けれども參政權の性質を明らかにすることなく、無自覺に參政權を獲得することは決して正しいことではないし、又、不幸なことであります。ですから、私共は參政權を獲得する前に先づ、一體參政權と云ふものはどの位の効果を私共に齎すもので

あるか、又、參政權を行使する機關、即ち、政府は如何なる性質を帶び、如何なる仕事をするものであるか、そして、又、私共の參政權が政府全體にどの位の影響を與へ得るものであるか、それ等を先づ知つてゐなければならない

今日の、所謂民衆と稱されてゐる側の人達は云ひます。「宗教、教育、經濟組織、及び、其の他の動的社會機關は皆政治的の形式によつて支へられてゐる。云ひかへれば宗教も教育も法律も哲學も經濟學も倫理學も、皆治者階級が彼等自身の心の傾きに從つて、そして、必要と認めたものを、唯、政治的形式を通じて社會的にしたに過ぎない。共同の利益を明瞭に見てゐる治者階級は常に自分の意志を民衆に押し付ける。强固に彼等自身の力を組織してゐる治者階級が、彼等程有力な組織を持たない團結力の弱い、ゆるつたい團體、即ち、民衆に彼等の意志を押し付けることは比較的容易だ。けれども我々民衆はいつ迄も其の屈辱を甘んじてゐることは出來ない。我々民衆は今や此の狀態を覆へさなければならない。」と。

○

實際、社會構造の見地から見て、組織のある治者階級は、組織のない、又、あつても極く力の弱

い民衆よりは確に有力であります。從つて社會生活の全體に彼等自身の意志を押し付けようとする傾きのあるのも事實でありませう。けれども治者階級が政治的形式、即ち、政府を通じて彼等の意志を全部表現すると見るのは正當でありません。云ひかへれば、政府が治者階級と異字同意であると見るのは、間違つてゐます。「政府は如何なる階級よりも、より廣いものである」と云ふ獨逸人の國家概念は全く爭ふ餘地がない程正當なものであります。從つて、今日治者階級のうちにある主權を社會團體、即ち、民衆の手に移せと云ふ要求は當を得たものでないと私は考へてゐます。

この社會は利益を基礎としたいろ〳〵の團體のより集りであり、又、發明と因習の止まらざる爭鬪であります。で、往々利益の衝突が起ります。そして、其の場合に其の衝突の調和を計ることの出來る大規模の力が無ければなりませんが、其の力が國家であります。そして、政府は其の仕事をする、即ち、政府は國家の事務所であるのです。ですから、主權がどの階級にあるの、どの階級にないのと云ふことは問題ではなく、要は、唯、政治組織の方法と、そして、仕事にあると思ひます。ハクスレーやボロツクは「政府は合同した社會の集合的道理」だと云つてゐます。それから、この二人よりも百年も前にバークは「國家と云ふものは、一時的な直ぐに滅してしまうやうな唯人間の

動物性を維持するだけの物品の合名會社ではない。けれども、科學、藝術、德義と云ふやうな精神的なもの〻合名會社である」と云つてゐます。けれども、政府がさう云ふやうな作用を持つやうになつたのはずつと後の話で、もつと昔に溯れば溯る程人間は道理によると云ふよりも、唯、感じたり、粗雜に實驗したり、模倣したりしてゐたのですから、其の時代の政府は、唯、人民に保護を與へたり、人民の內部の一致を强ひたりする一つの形式に過ぎなかつたのです。が、其れがだん〳〵道理の方向に進んで行つて、ツヒに政府は其の範圍と作用を廣くして行つて、そして、パークの概念に接近するやうなものになつたのです。

○

動物に於ける高等な發達は貝殼のやうな、或ひは骨のやうなものが出來た後だつたと云ふことを私は聞きましたが、成程、動物が單なる軟體である間ははか〴〵しい發達を遂げることは出來なかつたでありませう。貝殼や骨は內部を凝縮して力を强くし有効な働きが出來ると同時に、其れ自身の保護ともなりますから、それと同じ意味で、今日に於ける國家は社會のあらゆる制度の中で最も有効な凝縮力を持つものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人間社會には常に三つの根本的に必要なものが存在してゐます。そして、其の三つのものとは、外界からの保護と、內部の秩序と、それから、幸福の增進と云ふことであります。そして、この必要を滿すものが國家であります。そして、其の國家の事務所が政府であることは前にも云つて置きました。

と申しますと一定の政治組織が出來ない前にはそれ等の必要を滿すものは無かつたやうに思へますがさうではありません。確固とした政治組織が發達する前ですらも、其等の三つの必要は反射的行爲、即ち間接的行爲、又は、直接行爲によつて行はれたり、又は、優れた人物によつて行はれたり、或ひは、又、習慣によつて行はれてゐたのですが、後には遂ひに政府と云ふものを組織し、それを通じて、それ等の三つの必要を行使するやうになつたのです。

根本的に國家は保險會社のやうなものであります。國民の生命と自由と幸福と平和を保險する處です。これによつて人間は進步して來ました。家庭の平和と有効な秩序は或る程度迄は國家の事務所であるしつかりした政府の結果であることを私共は承知してゐなければなりません。社會學者は大抵一種の實在論者でありますから、家庭の平和と云ふものは道理とか愛とか云ふものよりは、む

しろ、法律によつて造られたものだと云ひます。そして、それは無政府狀態や血まみれ騷ぎやを納めることが出來たのは、先づ法律であつたからと云ふ意味からです。つまり、必要と云ふことがさう云ふ法律を造つたので、人間と人間の間の親密さが法律を造つたのではないと云ふのです。これも確に一部の眞理であるに相違ありません。確かにこの社會は一度は法律の力でまとめられて來たのです。

○

米國人の如きはデモクラシーを政治組織の最後の形式だと信じてゐます。そして、必ず成功し、進歩するものだと心得てゐます。けれども、社會奉仕の本能が國民の大多數の本能にならない間はデモクラシーは空想であり、單なる一種の望みに過ぎないものです。實に、今の處では世界で最も進歩したデモクラシーの國でも、妬み、挑み、ぶつたくり、浪費、混亂の修羅場を度々現出してゐます。

とは云へ、デモクラシーが文明に大いに貢献し得るものであると云ふことは嘘ではありません。けれども、それは、國民がデモクラテックな敎育を徹底的に受けて、そして、今迄の利己主義的本能から脫して、利他主義的本能によつて動かされるやうになつた時であります。

一月の思ひ

加藤ひさ

無くてならないものも金、又有り過ぎてならないものも金である。この通貨たる金なるものゝ性質と價値とを女がよく知りそしてその適宜な取り扱ひ法を知ることに依てどれ程一家の幸福と國家の安寧秩序が保たれるかと云ふことが考へられる。

心苦しい疑獄に續く疑獄事件で充たされた昭和四年も遠のいて新しい午年を迎へた私達はあの愛らしい情深かそうな馬の眼、あの輕快な馬の足を連想して、今年は一つ馬のやうに輕快にやつて見やうと思はずには居られない。

一年の計畫を立つべき一月に考へなければならない事は、先づ以てたとへそれがチリ程の事であつても疑獄事件を醸すやうな源を消滅させやうとすることであらうと思ふ。

男が女を尊重するのと男が女に溺れるのとの間には大きな違ひがある。人妻であるないに拘らず男に尊重される女は國家に貢献する女であり、男を溺らす女は國家に害を爲す女である。金さへ多くあてがへばホクホク喜ぶやうな女の機嫌を取る爲に男は深い谷底へ落ち込むのも知らずにその崖ふちに咲き亂れて居る美しい黄金の花をむしり取て女に與へる。女はその花にどんな毒が含まれて居るかも知らず、只その美しさに醉ふてその花の美しさを通して男の顏さへも黄金のやうに輝いて見へるのかも知れぬ。

「女は利口のやうでもノー」と故田中男爵は云はれたとやら。これは又耳障りな言葉ではある。少なくとも女が金の性質を知り金の正しい使用法を知るならば、地盤のゆるい土地に地震が起つて、家なみ將棋倒しになるやうに夫が倒れて來たからと云つてヨロ〳〵と自分も倒されて下敷にされて悲鳴をあげるやうなことはない。

男の行動を最もよく監視し得る者は妻である。併し

夫の收入が多くさへあれば夫を偉いと信ずる妻は愚かであり、その多額の收入の不正なるを知つて默して居る妻は狡猾者である。世の中に一攫千金と云ふやうなことはあり得る筈のものでもなく、又さう云ふ風に金を取りたがる必要もない。

　如何にお金があつても一度に十杯の御飯も食べられず一度に十枚二十枚の着物を着ることもできず、そして、一人で二疊三疊の疊の上に寐ることもできない。自分で働いた勞力に對して報ひられたものをもつて滿足し餘つたら將來の爲に積むもよし、周圍の足らない者に足すもよし。

　とは云へ比較的餘裕のない生活をして居る私共のやうな階級者が比較的人に知れずに甘いことができるやうな位置に置かれた時に、良心に誓ひ得ると云ふことは困難には違ひない。誰でもが又誰れの夫でもが何時國家の重要な位地に立つかも知れず又立たればならないかも知れない。平凡な位地にある中から女が男を正しく批判し正しく批評する習慣を付けて置くならば例へ夫が零落しても大して悲觀することもなく又夫が重要な位地に立つても位地を濫用することもない、從つて一家の安全は勿論國家の礎となり得る。

　五十年乃至六十年の人生の山登りには雨もある嵐もある。そして同じ困難を切りぬけて頂上に上つた時にうらゝかに晴れ亙つた空の下にほがらかな笑をうかべて平地を見下して居る老人を造るのも、その頂上で雨あらしに打ちさいなまれて見るも無殘な老人を造るのも主もに女の力であるとしたならば女はふるひ立つて努めねばならない。

　國に借財はあつても貧乏であつても先づ第一に淸らかな男を一人でも多く造る事が最大急務である。私共は親でも夫でも我子でも傍に居るものから淸い心の持主にするよう努めなければならないと思ふ。

妻子を捨てる男を保安處分に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新民事訴訟法と並んで、我が法制史上に一轉機を劃すると云はれる改正刑法は、既に九ヶ年の日數を費して、最近漸く完成に近づき、目下刑法改正委員會が、刑事局作製の刑法改正豫備草案と改正刑法起草委員作製の其の對案とを基礎として、最後的原案起草と云ふ所まで運んで來たそうでありますが此の改正案のうちには、妻の姦通のみを罰した現行法を、夫の姦通にまで及ぼす項があります。

その外に、「保安處分」と云ふのがあります。それは、直接社會に放置しては害毒を流すが、さりとて刑務所につなぐ程でもない情況にある者を、一時的に隔離する「中間刑務所」の制度で此の案では、大體酒癖が惡く、社會に迷惑をかけたり、または、無節制や怠惰癖から起る常習犯に對して、輕罪の判決を受けたもの、及び、放火、殺人强盜犯人で、刑の報行を終つた後すぐ社會へ送り出しては尙危險の恐れがあると云ふようなものを、勞働留置所と云ふ場所に、所定の時日だけ監禁、强制勞働を命ずるのださうです。

で、私は、此の刑法改正委員會に一つの御願みがあります。その御願みと云ふのは、「妻子を放置し、路頭に迷はせ、自分は好きな女などゝふざけたり放浪したりしてゐるような男も、其の「中間刑務所」卽ち勞働留置所に監禁し妻子の生活費を働き出させるようにして頂きたい。

夫に捨てられるような女の多くは、やはり、何か缺陷を持つてゐる、捨てられる理由がある、と考へられない事はありませんが、併し、子供には何にも罪はない。そして、その子供の發育は母の手にまさるものはない。妻としては全然不完全な女も、母としては完全に近い。もう一度云ひますが、子供のためには生みの母にまさる人間は此の世の中に一人もない。

故に、子供のために、云ひ直せば次代のために、母子の生活に安定を與へるために、その母子に對して責任を忘れてゐる男をして、其の責任を法律の力をもつて全うさせて頂きたい。それは、放置された妻子の幸福ばかりでなく、夫自身のためにも、自分の力で守り切れない人間の道を守らせて貰ふことでありますから、幸福なことであるに相違ありません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

母心と法律

澤正の先妻渡瀬淳子氏が心狂はしきまでに慕つてゐた二人の愛兒に臨終の際にも逢はせろとか逢はせぬとか問題になつてゐたばかりでなく、彼女の死後、彼女の手文庫から「子等のために」と添書した銀行預金通帳が現れても、彼女が澤田家から離籍されてあるために、法律が邪魔しそうである、即ち、彼女の母心が無になりそうであるとは何と云ふ無法なことであるでせう。

子を思ふ母の心こそ大自然の心であり、此の心あつてこそ人類の生命は継續し成長を遂げ、世の中に潤ひがある。

子を思ふ母の心こそ人類の生命であるのに、男性萬能の社會は此の母心を輕視してゐた。貴い母の涙を女々しいと云つて無視し去ろうとしてゐました。

淳子氏の母心を蹂躙しようとする澤田家側の人々、及び、淳子氏の母としての希望を邪魔して遂げさせまいとする日本の法律は大自然の心に背き、人類の福祉を阻止するものであると私は斷定致します。

本誌定價（臨時表）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和五年一月廿三日印刷納本
昭和五年二月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN